

第22回東日本事例研究オンライン研修会 発表概要シート

法人名	株式会社ハイメディック	施設名	トラストグレイス御影
発表タイトル	『褥瘡を予防しながら仲間と麻雀を楽しむ』リスクと向き合いK様の望む暮らしの実現に向けて		
研究の目的	施設入居者のサービスは医療に特化しやすく、安心、安全に過ごしていただくためのケアプランを作成しご入居者の本来の望む生活とかけ離れてしまうことがある。『輝きプラン』を利用してリスクがある中で望む暮らしに取り組んだ。		
発表の概要	両下肢に感覚障害を持ち車椅子の座位で褥瘡ができてしまい、座位時間に制限を設けた日常生活を過ごしていただいていた。以前は、麻雀やゴルフなど色々な趣味を楽しんでおられたが、車椅子生活になり趣味を楽しむことが難しくなっていた。その中「ただ生活しているだけじゃダメ。楽しいことをして毎日を充実させないと。昔みたいに麻雀を楽しみたい。」という思いを居室担当者が聞き限られた離床時間で褥瘡を再発せずに麻雀を楽しんでいただける輝きプランに取り組みました。		
研究方法	『輝きプラン』を軸に多職種で目線を合わせてサービスを行うことで、ご入居者のその方らしい生活を実現するために居室担当者がアセスメントし輝きプランのアセスメントシートを作成。居室担当者が多職種に働きかけカンファレンスを開催。専門職で課題解決に取り組んだことで褥瘡を再発することなく離床時間を増やし麻雀を楽しむ『輝きプラン』のサービスが提供できた。		
成果・結果	①褥瘡外来の医師に制限時間の緩和を相談。写真で褥瘡部の記録と観察を実施。必要時は受診を行った。⇒褥瘡はほぼ完治し発赤のみ。その後の再発もない。②車椅子座位の時に定期的な座り直しと除圧回数を増やし離床時間を増やす。2時間30分しかなかった離床時間を6時間まで増やした。③パット交換時に臀部を浮かす協力動作を生活リハビリとして取り入れた。④居室担当者と一緒に麻雀の参加者を募り初心者用に麻雀入門書を作成。⇒麻雀をしたいという気持ちから教えたいという意欲的な気持ちに変化した。麻雀を実現できた。		
考察	居室担当者が主体性を持って、ご入居者の望む暮らしの為に多職種に働きかけ実施したことで、その方らしい本当に望む暮らしを実現することができた。		
アピールポイント 伝えたいこと	居室担当者が主体性を持って、ご入居者の思いを『輝きプラン』として多職種に働きかけ取り組みました。居室担当者の思い、ご入居者の思いが詰まった『輝きプラン』です。		